

平成23年度教育委員会事務点検評価(平成22年度実施事務事業)評価表

1 事務事業の基本事項

整理番号 32

事務事業の名称	文化活動支援事業		担当部課	教育委員会 生涯学習部 社会教育課		
			電話番号	04 - 2953 - 1111 内線 5671		
実施期間	～					
総合振興計画における位置づけ	5章	人を育み文化を創造するまちをめざして	実施計画(H22～24)事業名	文化活動支援事業		
	4節	文化振興と国際交流の推進				
	1項	想像性豊かな文化の振興	個別計画等の名称			
	1目	文化活動の促進				
実施根拠	社会教育法					
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 法定受託事務+自治事務					
事業開始の背景等	公民館等において、多くの文化サークルが活発に活動するとともに、狭山市美術家協会や狭山市合唱協会でも活動を継続的に行っているが、活動の成果を発表する機会の確保が求められていた。					

2 事務事業の目的・内容

目的	文化活動を行っている団体やサークルに活動の成果を発表する機会を確保し、市民の自主的な文化活動の促進を図る。					
対象	公民館等の文化サークル、狭山市美術家協会、狭山市合唱協会					
活動内容	公民館等で開催される市民文化祭、狭山市美術家協会展、狭山市合唱祭の開催にかかる経費の一部を補助した。					
(下段)前年度の方向性に対する改善活動	(前年度方向性評価)	他の文化事業補助制度との整合を図り、平成22年度に補助額を見直した。				
	内容の見直し					
環境配慮	車利用の抑制などを呼びかけている。					
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他( )					

3 事務事業の実施状況と成果

区分	指標名	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値の根拠・考え方
(実施状況指標)	市民文化祭の参加団体数	目標値	団体	670	670	640	650	前年度実績並みを基準に設定
		実績値		665	640	652		
		達成率		99.3%	95.5%	101.9%		
	目標値							
(成果指標)	市民文化祭の来場者数	目標値	人	35,000	33,000	32,000	30,000	前年度実績並みを基準に設定
		実績値		33,230	32,385	30,435		
		達成率		94.9%	98.1%	95.1%		
	目標値							

4 事業費

区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度		
		1,331	1,331	1,214	1,214		
経費	直接費	予算額	千円	1,331	1,331	1,214	/
		決算額	千円	1,331	1,331	1,214	
	財源内訳	国県支出金	千円				
		その他特定財源	千円				
		一般財源	千円	1,331	1,331	1,214	
	人件費	従事職員数	人	0.10	0.10	0.10	
人件費(従事職員数×平均給与)		千円	917	920	899		
事業費計(直接費決算額+人件費)		千円	2,248	2,251	2,113		
効率性指標	指標名	市民文化祭等への来場者数	人	34,367	33,612	31,735	※1単位当たりの経費
	単位コスト	事業来場者1人あたりの経費	円	65	67	67	

5 事務事業の評価

◆第一次評価(担当課による評価)

項目	評価の視点	評価	評価理由
個別評価	必要性	4 前年度 4	市民の文化に対するニーズに応え、地域文化の振興を図るうえでは、市民の自主的な文化活動を支援し、その活動の促進を図る必要がある。
	有効性	4 前年度 4	各会場とも多くの来場者があり、市民の文化に対する理解と普及の促進が図られ、地域文化の振興に寄与している。活動者・参加者の高齢化等による参加者の減少も見られるが、市民が気軽に文化に触れられる機会を提供することの有効性は認められる。
	効率性	3 前年度 3	市民の自主的な活動に対する支援策として、補助金という手段には一定の費用対効果が認められる。
<5段階評価> 5:極めて高い 4:高い 3:普通 2:低い 1:かなり低い			
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 内容の見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了		
各文化事業については、各地域の特性を活かした文化活動の発表の場であるとともに、市民が専門的な芸術に接する機会であることから、引きつづき支援を行う。			

6 その他(学識経験者の意見等)

文化活動支援は一見地域づくりとかけ離れているが、文化活動を契機に地域の人間関係が築かれる。また、地域づくりにつながっていく。市民が身近に文化を感じ、人々と交流できることのできる重要な機会である。